

研 究 テ ー マ	小児の在宅療養のためのケアマネジメント開発研究事業
研 究 目 的	<p>小児の在宅療養の推進を図るため、以下の4点についての実施、検討を目的とした</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 平成12年度作成のプログラムの有用性に関する検討</li> <li>2. NICUを退院する小児のケアマネジメントプログラムの作成</li> <li>3. 訪問看護ステーションサービスに関する利用者や医療・福祉関係者の意識調査による利用促進についての検討</li> <li>4. 研修会によりプログラムの普及と実践能力の向上に寄与する</li> </ol>
研 究 方 法	<p>以下の4つの方法で研究を行った</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「在宅人工呼吸器療法を実施する子どもとその家族のためのケアマネジメントプログラム」を活用した事例検討</li> <li>2. NICUを退院する子どものためのケアマネジメントプログラムについて、事例検討や専門家の助言を得て作成</li> <li>3. 訪問看護ステーションの利用者、医療・福祉関係者の訪問看護サービスに関する意識調査の実施</li> <li>4. ケアプログラムの有用性検討及び在宅小児看護実践能力向上のため研修会開催</li> </ol>
結 果 及 び 考 察	<p>I. 4つの研究方法より、以下にそれぞれの結果が得られた</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 平成12年度作成ケアマネジメントプログラムの有用性を検討し改訂版を作成</li> <li>2. NICU退院後の子どもとその家族のためのケアマネジメントプログラムを作成</li> <li>3. 訪問看護ステーションのサービスは家族、医療者などに十分に認知されていない現状があった。利用している家族の満足度は高かったが不足している点もあった。</li> <li>4. 小児の在宅療養の実践能力を有する看護師の育成が必要であり、具体的内容の研修企画の必要性が示唆された</li> </ol> <p>II. 平成11～13年の3年間事業実施により、小児の在宅療養を推進するためには多くの課題を解決しつつ、「小児の在宅療養支援システム」構築の必要性が示された</p>
研 究 助 成 金 名	平成13年度 社会福祉・医療事業団助成事業